

L'HOMME PRESSE

PACIFIC

プレステーション

俺にはたち止まる時間はない



いま 目の輝きが変わった! さらに魅力をました にくいヒーロー ドロンがあなたの心をつかむ

● ドロンが変わった! ●



アラン・ドロン、今年44才。男として、俳優として、またひとりの人間として、さらにみがきのかかった彼。愛・友情・仕事…そのひとつひとつに男の生き方、新たな男としての魅力をプラスして私たちの前に現われた。

● 変化と前進しかない男の人生

ドロンの演じる主人公、ピエール・ニオックスは平凡な人生を嫌い、常に新しい物を求める男「俺には、変化と前進しかない」という彼の生き方は、新しい男の生き方を我々に問いかける。妻、エドウィジュにミレーユ・ダルクが扮し、その妹マリーには、ヴィットリオ・デ・シーカ監督に見いだされ、「楡の木陰の愛」で、マーク・レスターと共に主役に抜てきされた、モニカ・グワルリトーレが起用され話題を呼んでいる。ドロンとの微妙な心のやりとり、その中に新しい感覚の男と女の愛が描かれていく。全体の背景にあるオークションは、まさに華麗な人生の賭けを凝縮したものである。

監督は、「絶体絶命」でヌーベル・ヴァーグの新人として脚光をあげ、その後も着実な歩みを続けているエドアール・モリナロ。そして、「鉄道員」「ブーベの恋人」などでおなじみカルロ・ルスティケリが音楽を担当している。



● さて、新しい時代のヒーロー像とは何か ●

金か、力か、容姿か。現代に生きる男たちのヒーロー的要素とはいったい何なのだろうか。ニオックスの生き方を通し、あなたも考えてみませんか。

● 新しい感覚の「プレステージ」

ピエール・ニオックスは、由緒ある絵画や骨薫品を売買する美術商である。彼は、美術品の持つ魅力とその値を競って自分の手にする時のスリルを唯一の生きがいとしていた。

彼の頭のなかには、ビジネスしかない、それはエドウィジュの魅力にとりつかれて、電撃的に結婚をしても、変わらなかった。ハネムーン先のベニスでも骨薫品の情報が入ると、彼女を残し、すぐアフリカへ飛び立ってしまう。エドウィジュはそんな彼とのあわただしい生活に、だんだん不安を感じるようになった。そんなある日、エドウィジュは、ニオックスに妊娠を伝える。彼は「子供は7か月で生め」という。小さな命まで、彼のペースに合わせようとするのだ。不安がいかりになり、彼女は家を出た。必死になって彼女を探すニオックスの前に、エドウィジュの妹マリーが現われる。彼女も決して姉の行方を教えようとはしなかったが、反発を感じながらも、しだいにニオックスへ魅かれていく。

ある日「エトルリアの壺」がオークションに出されることになり、ニオックスはいいような興奮を感じた。それはニオックスが20年以上も探し求めていた、世界に比類のない壺なのだ。彼はこの壺に、全財産を投じる決心をした。

そしてその当日、思いもかけない事態がニオックスに襲いかかった!

（こんなドロンに
会ったことがあるか）
今までにないドロンの
魅力が、さらにプラス
されて、新しいドロンが
私たちをとりこにする。



（80年代を生きる
ヒーローの姿が
そこにある）

華麗に! スリリングに!
愛に賭け、仕事に賭け、
さらに新しい物へ自分
を賭ける男の生きざま
は、まさに現代のヒー
ローだ。

L'HOMME PRESSE
プレステージ

カラー作品/フランス映画/ JEI コミック コムレコ 配給

アランドロン

● ミレーユ・ダルク ● モニカ・グワルリトーレ ● ミシェル・デュショソワ

● 監督/エドアール・モリナロ ● 製作/アランドロン/レイモン・ダン ● 音楽/カルロ・ルスティケリ<サントラ盤>キングレコード

PACIFIC

5月19日 特別ロードショー

有楽町
そごう側

スバル座

(212)
2826

*特別ご鑑賞券 ¥1000 (一般1300円 学生1100円 の処) 発売中!

連日 12:00 1:40 3:30 5:20 7:10